

# 厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム

---

設置・設定マニュアル Ver.3.0

## 目次

1. プログラム概要 .....	2
2. 設置手順 .....	3
3. 注意事項 .....	5
4. 動作環境 .....	6
5. 初期設定（環境設定） .....	7
6. 初期設定（パスワード変更） .....	9
7. 初期設定（面接指導医登録） .....	11
8. 初期設定（実施設定） .....	12
9. 初期設定（職場設定） .....	13
10. 初期設定（受検者設定） .....	14
11. 初期設定（コメント設定） .....	15
12. 「WindowsによってPCが保護されました」というダイアログが表示される場合 ...	16
13. 初回実行時にインストーラが実行される場合 .....	17

## 1. プログラム概要

本プログラムは、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度事業を浸透させるため、ストレスチェックの受検、高ストレス判定、個人のストレスプロフィールの出力、仕事のストレス判定図の出力を行うものです。

本マニュアルでは、ストレスチェックを受検するための「受検者回答用アプリ」とストレスチェックの結果を管理する「実施者用管理ツール」の設置・設定方法について記載しています。

本マニュアルではファイル名に拡張子を付けて記載しています。使用する環境によっては拡張子が表示されていないことがあります。実施する際は拡張子を表示して行ってください。

## 2. 設置手順

ストレスチェック実施プログラムの設置手順の概要は以下のとおりです。

「環境設定」、「パスワード設定」、「実施管理」、「職場情報」が正しく設定されていないと、受検者による受検者回答用アプリのご利用はできません。

(ログイン方式で受検者アプリを利用する場合は、上記に加えて「受検者情報」の設定も必要です)

### 2-1. ストレスチェック実施プログラムのダウンロード

プログラムをダウンロードしZIPファイルを解凍します。「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」というフォルダを利用者全員が参照可能なフォルダ（ディレクトリ）やファイルサーバーにコピーします。フォルダ「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」以下のフォルダ及びファイルの位置や名前は変更しないでください。

### 2-2. 受検者回答用アプリの設置

受検者回答用アプリはフォルダ「受検者回答用アプリ」の中にある「受検者回答用アプリ.exe」になります。可能であれば受検者が誤ってアプリを削除することを防止するため「受検者回答用アプリ.exe」へのショートカットを作成し、受検者に対し公開するための場所にそのショートカットのみを移動し対象者へ公開してください。(受検者回答用アプリ.exeやフォルダは移動させないでください)

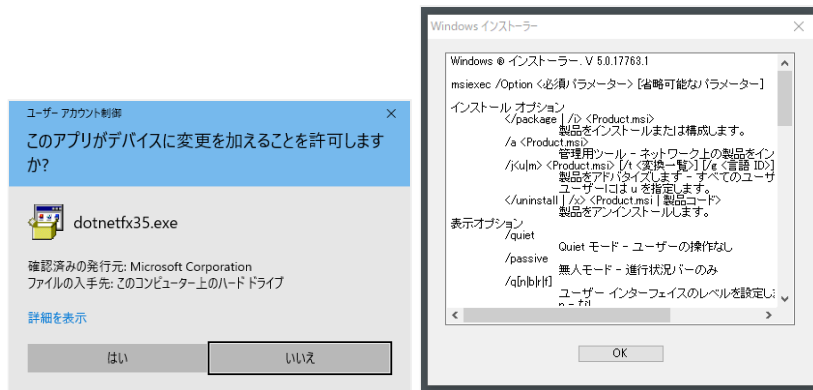
### 2-3. データフォルダへのアクセス制限

受検者の回答情報を含むデータはフォルダ「実施者要管理ツール」の中の「MainProgram」以下に保存されます。個人情報漏えい防止のため「MainProgram」に対し、実施者のみアクセス可能な権限設定を行ってください。詳しい設定方法は、各事業場のサーバー管理者へお問い合わせください。

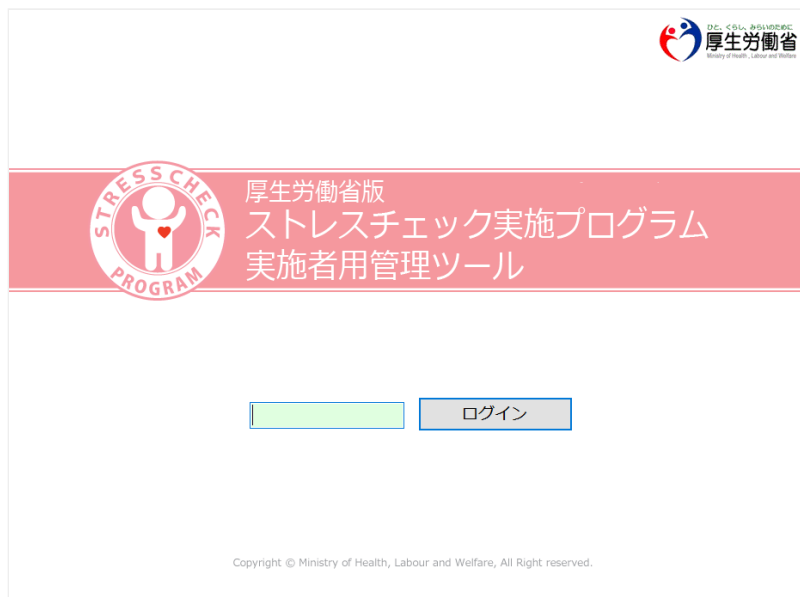
## 2-4. 実施者用管理ツールの起動

実施者用管理ツールからプログラムの初期設定を行います。フォルダ「実施者用管理ツール」の下の「実施者用管理ツール」を起動してください。初回起動時に「WindowsによってPCが保護されました」というメッセージが出る場合は、本マニュアル "12. 「WindowsによってPCが保護されました」というダイアログが表示される場合" の手順を実行してください。（2回目以降の実行時には表示されません。）

必須コンポーネント（必須のソフトウェア）がインストールされていない環境ではセットアップが起動します。以下のようなウィンドウが出る場合は、本マニュアル "13. 初回実行時にインストーラが実行される場合" の手順に従って必要プログラムのインストールを実施してください。



## 2-5. 実施者用管理ツール初期設定



実施者用管理ツールのログイン画面が開いたら、初期パスワード「stresscheck」でログインし、以下の各設定を行ってください。なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

- 環境設定（必須） ..... P.10
- パスワード設定（必須） ..... P.12
- 面接指導医登録..... P.14
- 実施管理（必須） ..... P.16
- 職場情報（必須） ..... P.18
- 受検者情報（ログイン形式の場合、必須） ..... P.18
- コメント設定 ..... P.18

### 3. 注意事項

- 使用にあたり、必ず「設置・設定マニュアル」(本マニュアル)、「実施者用管理ツールマニュアル」、「受検者回答用アプリマニュアル」を事前によくお読みください。
- 厚生労働省版ストレスチェック実施プログラムのフォルダにはプログラムの実行に必要なファイルが含まれています。「受検者回答用アプリ」「実施者用管理ツール」フォルダの中身の移動・修正等はストレスチェック実施プログラムが動作しなくなるため行わないでください。
- 実施者用管理者ツールの「環境設定」、「職場情報」、「実施管理」が正しく設定されていないと、受検者による受検者回答用アプリのご利用はできません。
- 個人情報漏えい防止のため、パスワードの保管・取り扱いには十分にご注意いただき、定期的にご変更ください。
- PDF・エクセル・CSVの出力先は実施者のみがアクセスできるフォルダに設定して下さい。
- 本プログラムの登録可能件数はパソコンの処理能力やメモリ量により変化しますが、おおよそ最大3万件程度を目安にご利用ください。受検人数が多い、または受検回数が多いことが想定される時には、「実施者用管理ツールマニュアル」9ページの「3万件を超えるデータが保存されることが想定される時の設定例」のような設定方法などで「受検者回答用アプリ」と「実施者用管理ツール」を分け最大登録件数を抑制し運用してください。登録可能件数を越えた時は、パソコンがフリーズするなどの予期できない動作を引き起こす可能性がありますのでご注意ください。
- 「受検者回答用アプリ」「実施者用管理ツール」は必ず、同じバージョンで使用してください。同じバージョンを使用していないと、ストレスチェック実施プログラムが動作しなくなる可能性があるため行わないでください。
- 「ダウンロード時の注意事項」が守られない、または「設置・設定マニュアル.pdf」、「受検者回答用アプリマニュアル.pdf」、「実施者用管理ツールマニュアル.pdf」(本マニュアル)に記載されていない使用方法を行うことで生じた不都合について、厚生労働省及び開発依頼元並びに開発元では責任を負いかねます。

## 4. 動作環境

受検者回答用アプリおよび実施者用管理ツールは以下の環境での動作を推奨しています。

### 受検者回答用アプリ

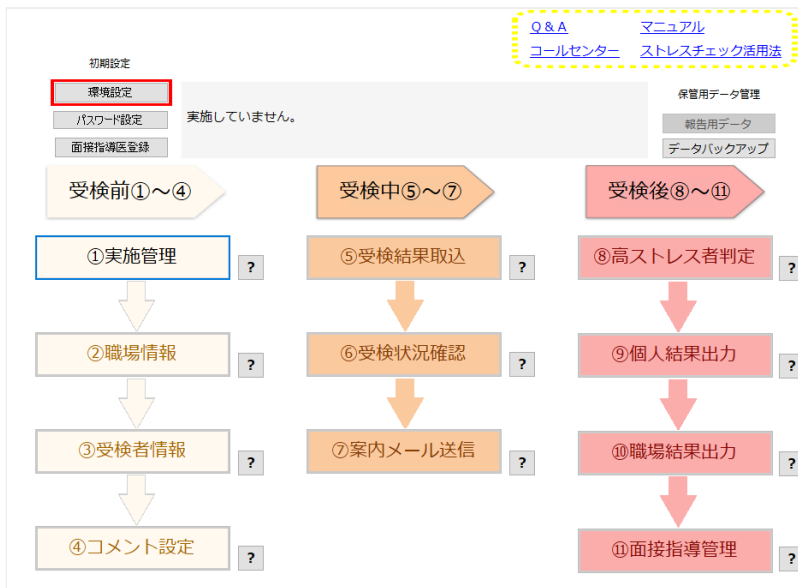
- OS  
Windows 7  
Windows 8  
Windows 10  
※OS は最新の状態にして使用してください。
- .Net Framework  
3.5 以上
- 画面の解像度  
1024×768 以上

### 実施者用管理ツール

- OS  
Windows 7  
Windows 8  
Windows 10  
※OS は最新の状態にして使用してください。
- .Net Framework  
3.5 以上
- 画面の解像度  
1024×768 以上

## 5.初期設定（環境設定）

実施者ログイン後のメニューから左上の「環境設定」をクリックします。



環境設定画面が表示されます。

以下が、環境設定画面で設定ができる項目です。

### **ストレスチェックの出力フォルダ（登録必須）**

PDFやExcel形式で出力するデータを保存するためのフォルダです。実施者のみがアクセスできるフォルダを指定してください。（この設定は後からでも変更できます）

### **受検者回答用アプリの設定（登録必須）**

受検者が回答アプリを利用する際の個人認証形式を下のいずれかから選択します。この設定は一度設定後、保存されると変更できませんのでご注意ください。（もし保存後に別の形式に変更したい場合は、再度ダウンロードからインストール手順を行ってください）

- ログイン形式 ..... あらかじめ実施者が受検対象者の社員ID等を登録し、対象受検者が初期パスワードで認証を行う形式です。
- 入力形式 ..... 受検者が回答時に次項にて設定した必須項目を入力して回答する形式です。

### **受検者情報の必須項目**

受検者の属性情報のうち、「氏名」「フリガナ」「生年月日」「性別」「職場名」「社員ID」はシステム上必須項目です。「メールアドレス」「電話番号」「内線番号」は設定により必須とすることができます。この設定は一度設定後、保存されると変更できませんので注意して下さい。本バージョン（ver3.0）から「社員ID」が必須項目となりました。＊2019年1月頃、プログラムのバージョンアップ（ver3.1）を行った場合、こちらに前回使用した社員IDを入力すると、2年分の個人結果を表示できますので紐付けは正しく行ってください。詳しくは2019年1月末以降に公開されるマニュアルをご参照ください。

### **回答結果の見方ファイルの差し替え**

受検者に対して受検回答用アプリにて回答後に表示される分析結果の見方を案内するファイル（PDF）の内容をデフォルトで配布しているPDFから、独自のファイルに変更します。登録できるファイル形式はPDFのみとなります。

設定後、右上の「保存」ボタンを押すことで設定が保存されますので、設定変更後は必ず「保存」を押してください。「MENUに戻る」ボタンでメニューに戻ります。

なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。



## 6.初期設定（パスワード変更）

メニューから画面左上の「パスワード設定」をクリックします。



MENUに戻る

実施者メニュー»パスワード設定

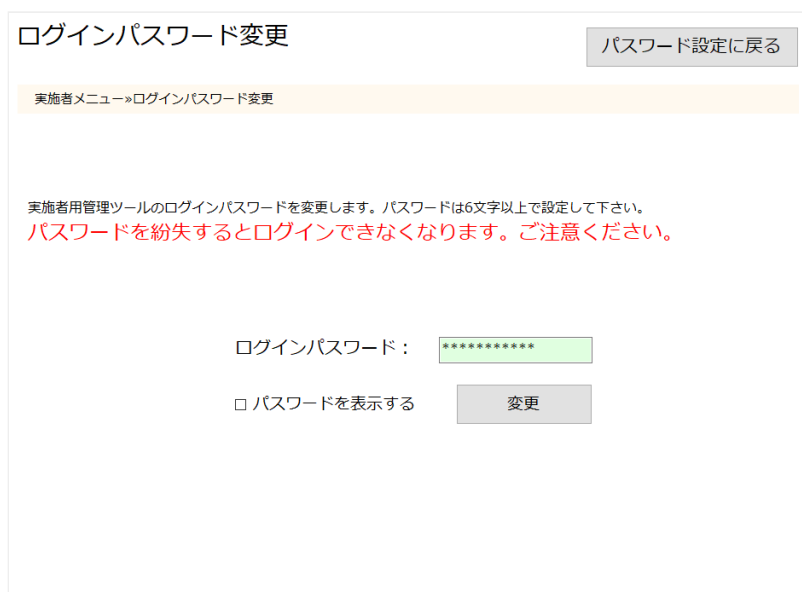
パスワードの変更を行います。  
初期パスワードの「stresscheck」から必ず任意のパスワードへ変更してください。

ログインパスワード変更

ファイルのパスワード変更

開いたパスワード設定画面で以下の設定を行ってください。

### ログインパスワード（必須）



ログインパスワード変更

パスワード設定に戻る

実施者メニュー»ログインパスワード変更

実施者用管理ツールのログインパスワードを変更します。パスワードは6文字以上で設定して下さい。  
パスワードを紛失するとログインできなくなります。ご注意ください。

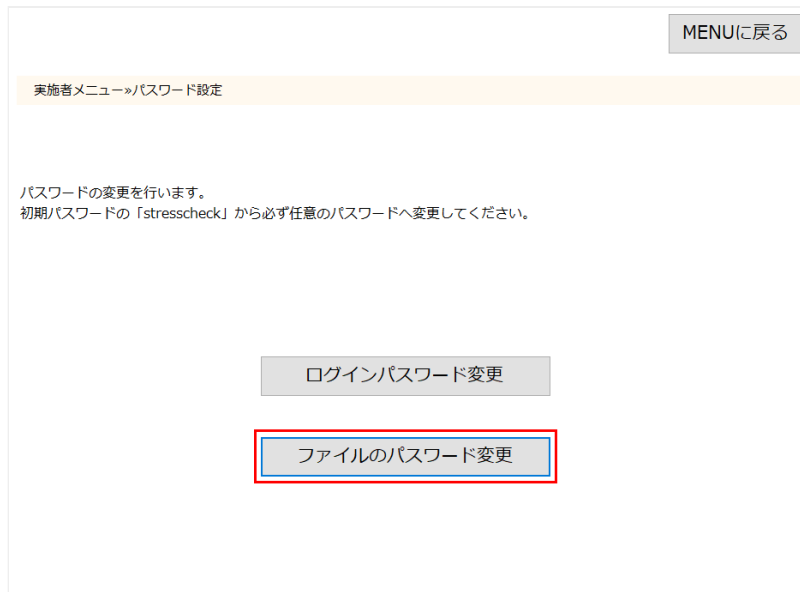
ログインパスワード:

パスワードを表示する

次回以降、本プログラム起動時に入力するパスワードを設定します。初期パスワードと同じ「stresscheck」は指定できません。パスワードを入力し、「変更」ボタンを押した後、確認のため、再度同じパスワードの入力を求めるダイアログが表示されるので入力し「OK」を推してください。パスワード変更が完了したら右上の「パスワード設定に戻る」ボタンで元の画面に戻ります。半角英数で16文字まで入力可能です。

変更後にパスワードを紛失すると、本プログラムが利用できなくなりますので注意してください。（もし紛失した場合は、再度ダウンロードからの再インストール処理が必要です）

## ファイルのパスワード (必須)



The screenshot shows a web interface for password management. At the top right is a button labeled "MENUに戻る". Below it is a breadcrumb trail: "実施者メニュー»パスワード設定". The main content area contains the following text: "パスワードの変更を行います。初期パスワードの「stresscheck」から必ず任意のパスワードへ変更してください。". There are two buttons: "ログインパスワード変更" and "ファイルのパスワード変更", with the latter being highlighted by a red rectangular border.

本プログラムから出力するファイルにかかるパスワードです。パスワードを入力し「変更」ボタンを押した後、確認のため、再度同じパスワードの入力を求めるダイアログが表示されるので入力し「OK」を押してください。パスワード変更が完了したら右上の「パスワード設定に戻る」ボタンで元の画面に戻ります。

2つのパスワードの設定が終わったら、「MENUに戻る」ボタンでメニューに戻ります。

なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

## 7.初期設定（面接指導医登録）

メニューから画面左上の「面接指導医登録」をクリックします。登録なしで次の実施登録へ進むことも可能です。また実施登録をした後で、担当医の登録を行うことも可能です。

面接指導医	医師区分
山田太郎	1: 事業場選任の産業医
*	

面接指導医の氏名、医師区分を入力します。（複数の担当医がいる場合は、複数行入力します）「保存」を押すと面接指導医の登録が完了しますので、「MENUに戻る」でメニューへ戻ってください。

なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

## 8.初期設定（実施設定）

メニューの「①実施管理」から実施登録を行います。

①実施管理 ②職場情報 ③受検者情報 ④コメント設定 MENUに戻る 保存

実施者メニュー>>実施管理

実施名称: 2019年度1回目 実施方法選択: 標準版 新規実施を作成

実施期間: 2018/12/24 ~ 2018/12/31

実施者: 田中二郎 検査実施者: 2: 事業場所属の医師

面接指導医: 山田太郎 実施状況:  実施中 行削除

実施状況	実施回	実施タイ...	実施方法	実施開始期間	実施終了期間	実施責任者
▶ 実施中	1	2019年...	標準版	2018/12/24	2018/12/31	田中二郎

入力項目は以下になります。

- 実施名称（必須）：「2019年度」など、実施回を識別するための名称を設定します。
- 実施方法選択（必須）：標準版(57問)か、簡易版（23問）かを選択します
- 実施期間（必須）：受検者が回答できる期間（開始日、終了日）を設定します。受検者が回答用アプリで回答できるのはここで入力した期間内となります。
- 実施者（必須）：実施の責任者の氏名を入力します。この情報は回答者アプリに表示されます。
- 検査実施者（任意）：今回の実施を主に担当する検査実施者（担当医）の区分を選択します。
- 面接指導医（任意）：今回の実施を主に担当する指導医を選択します。（事前に前述の面接指導医の登録が必要です）
- 実施状況：複数の実施回がある場合、実施中のものにチェックしてください。

入力が終わったら右上の「保存」を押すことで登録が完了します。保存後「MENUに戻る」でメニューに戻ります。

なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

## 9.初期設定（職場設定）

メニューの「②職場情報」から受検者の所属する職場の登録を行います。

①実施管理 ②職場情報 ③受検者情報 ④コメント設定 MENUに戻る 保存

1回目実施者メニュー->職場情報

実施回選択: 1回目 - 標準版

外部データ取込(Excel,CSV) 外部データ出力(Excel,CSV)

△ + -

- 営業部
  - 営業第1課
  - 営業第2課
  - 営業第3課
- 経理部
- 企画部
- カスタマーサポート部

親階層 職場コード 職場名 前回コード

登録

対象の実施回を選択し、「+」を押して受検対象者が属する職場を全て登録して下さい。入力、変更した内容は右上の「保存」を押した時点で確定します。全ての職場の登録が終わったら「MENUに戻る」でメニューに戻ります。

なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

## 10.初期設定（受検者設定）

メニューの「③受検者情報」の画面から受検対象者の情報を登録します。環境設定で「受検者回答用アプリの設定」として「ログイン形式」を選択した場合はこの画面で、全ての受検者の登録が必要です。

氏名	フリガナ	生年月日(西暦)	性別	社員ID	職場コード	職場名
堀口西人	ホリグチナオト	1980/09/09	男性	10001	0101	営業第1課
大西美奈代	オオミヤミナヨ	1993/02/13	女性	10002	0102	営業第2課

入力、変更した内容は右上の「保存」を押した時点で確定します。ログイン形式の場合、登録した時点で受検者ごとにログイン時の初期パスワードが自動発行されますので、保存後「外部データ出力」から対象者の一覧をダウンロードし、ファイルに記載されている受検者ごとの初期パスワードを各受検者へ通知して下さい。

受検者の登録が終わったら「MENUに戻る」でメニューに戻ります。

なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

## 11.初期設定（コメント設定）

メニューの「④コメント設定」の画面からストレス判定後に受検者に通知するコメントの文面を登録します。（初期値から変更する場合のみ）

①実施管理 ②職場情報 ③受検者情報 ④コメント設定 MENUに戻る

保存

2019年度1回目実施者メニュー>>コメント設定

コメントは150文字まで入力が可能です。

高ストレスコメント：

ストレスチェック結果におきまして、高ストレス者判定基準に該当していました。このような状態が続きますと大変心配ですので、医師による面接指導をお勧めします。希望される場合、結果を社内の担当者に開示の上、面接の準備を行います。ご不明な点がございましたら実施者または実施事務従事者までお問い合わせください。

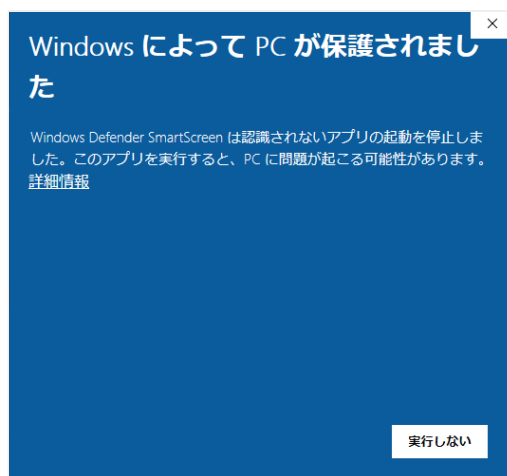
非ストレスコメント：

ストレスチェック結果におきまして、心身の健康面において特に問題はみられませんでした。何かご心配なことなどございましたら社内外の相談窓口や産業医面談もご活用ください。これからもご自身の健康維持と職場環境の改善にご協力をお願いいたします。

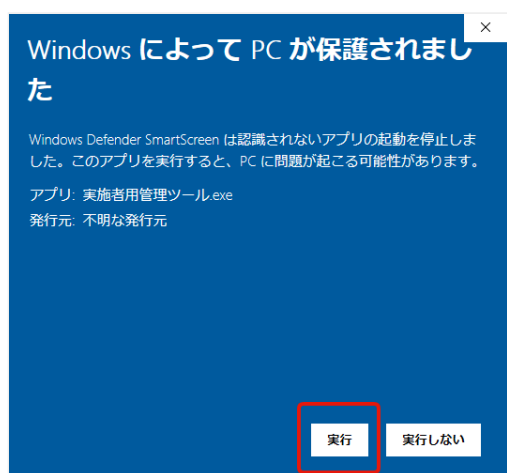
なお、より詳しい説明については「実施者用管理ツールマニュアル」をご参照ください。

## 12. 「WindowsによってPCが保護されました」というダイアログが表示される場合

アプリケーション（実施者用管理ツール、受検者用回答ツール）を初めて起動する場合、以下のような警告ダイアログが出て実行できない場合があります。



この画面が出た場合は、メッセージの下にある「詳細情報」をクリックして下さい。



詳細情報をクリックすると、下に「実行」のボタンが出ますので「実行」を押すことで次の処理へ進めます。同じアプリケーションの起動時に複数回表示される場合は同じ手順で先に進んで下さい。

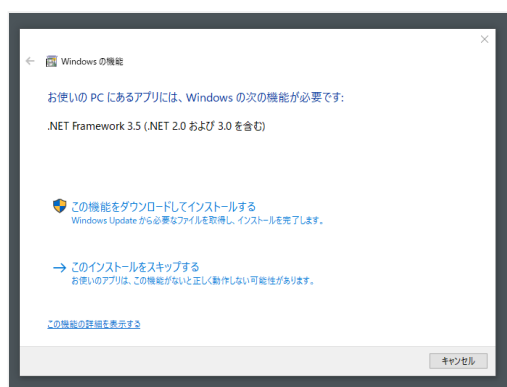


## 13. 初回実行時にインストーラが実行される場合

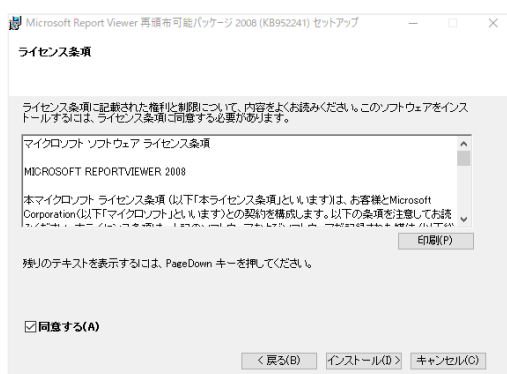
アプリケーション（実施者用管理ツール、受検者用回答アプリ）を初めて起動する場合、以下のような警告ダイアログが表示される場合があります。（exeファイルの名前は下と異なる場合があります。）



この画面はアプリケーション実行に必要なプログラムのインストールの許可を求めるものです。「はい」を選択して先に進んで下さい。



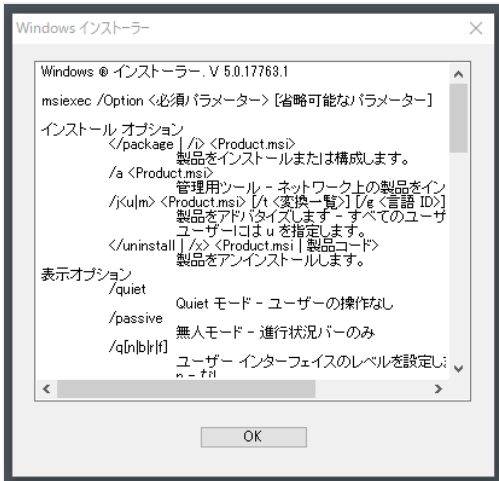
「この機能をダウンロードしてインストールする」を選択します。



このようなダイアログが表示された場合は「インストール」をクリックし先へ進んで下さい。しばらくするとインストーラが起動するので完了するまで待つて下さい。（インストールには数分を要する場合があります）



完了後、PCを再起動を促すメッセージが表示されますので再起動を行ってください。



インストーラーが起動すると、このような画面が表示される場合があります。「OK」で先に進んで下さい。  
(何度か続けて表示される場合もあります)

全ての必要ファイルのインストールが終わると、アプリが起動します。